

概ね5年で実施する取組【H29取組状況】

【資料－2】

青字:削除 ●:実施済 ▲:実施(検討)中 ○:未実施 ■:追加

具体的な取組の柱	課題の対応	目標時期	実施する機関											地域住民		
			関東地整	気象庁	水機構	栃木県	群馬県	足利市	栃木市	佐野市	桐生市	太田市	館林市		板倉町	邑楽町
1)ハード対策の主な取組																
■洪水を河川内で安全に流す対策																
①浸透対策 ②パイピング対策 ③流下能力対策	Z	平成32年度	▲													
■危機管理型ハード対策																
①天端の保護 ②法尻の補強	Z	平成32年度	●													
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信	H・J・K	平成32年度	●			●	●									活用
②円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※例…防災無線スピーカーの増設、民間企業等と連携した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュニティFMを活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの設置等	H・I・J	平成32年度	●					●	●	●	●	●	▲	▲	●	活用
③排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施 ※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S・T・V・X	平成32年度	○					▲	●	●	▲		▲	▲	○	
④水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置	N	平成28年度	●													活用
⑤迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材、地域防災計画に基づく水防資機材等の配備	Q	平成28年度から順次実施	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	活用
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																
■情報伝達、避難計画等に関する取組																
①避難勧告に着目したタイムラインの策定	D	平成29年度出水期	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	
②広域避難計画の策定	E・F・U	平成31年度				▲	○	○	▲	○	▲	○	▲	▲	▲	活用
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																
①想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表 ※ 渡良瀬川洪水浸水想定区域図(H28年度中予定)	A	平成28年度	●													活用
②想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	A・C	平成28年度	▲													活用
③想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定・周知	A	平成32年度						○	▲	○	▲	○	○	○	●	活用

具体的な取組の柱	事項	課題の対応	目標時期	実施する機関											地域住民		
				関東地整	気象庁	水機構	栃木県	群馬県	足利市	栃木市	佐野市	桐生市	太田市	館林市		板倉町	邑楽町
④首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施 ⑤日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備 ⑥小中学校における水災害教育の実施 ⑦要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の促進 ⑧「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の提供等、防災気象情報の改善 ⑨大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施 ⑩ダムでの防災操作に関する周知		E・H・I・L	平成28年度から順次実施				○		●	●	●	●	▲	●	●	●	参加
		E・G	平成32年度						○	▲	○	●	○	○	▲	○	活用
		A・B	平成28年度から順次実施				●	○	●	●	▲	●	○	●	●	○	参加
		M	平成28年度から順次実施				●	●	●	●	●	●	○	○	○		参加・活用
		B・K	平成29年度出水期		●												活用
		A・B	平成28年度から順次実施						○	●	●	●	●	○	●	●	活用
		B	引き続き定期的に実施			●											活用
2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																	
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 ②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検の実施 ③水防(防災)訓練の実施 ④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進		L・O	平成28年度から順次実施						●	●	●	●	●	●	●	●	参加
		N・O	平成28年度から実施	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加
		O・P・R	平成28年度から実施	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加
		O・P	平成28年度から実施	●					●	●	●	●	●	●	●	●	活用
2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動及び施設運用強化の取組																	
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組																	
①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成 ※排水計画(案)…効率的、効果的な排水ポンプ設置箇所の選定までを含む。 ②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施 ③ダムの容量を最大限活用する防災操作の検討		V・W・X	平成30年度	○													
		V・W	平成32年度	▲			▲	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	
		Y	平成28年度から検討			▲											

概ね5年で実施する取組【H29取組状況】

(市町 用)

青字:削除

項目	事項	内容	課題の対応	足利市		栃木市		佐野市		桐生市		太田市		館林市		板倉町		邑楽町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容
1)ハード対策の主な取組																				
■洪水を河川内で安全に流す対策																				
		①浸透対策 ②バイピング対策 ③流下能力対策	Z																	
■危機管理型ハード対策																				
		①天端の保護 ②法民の補強	Z																	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信	H・J・K																	
		②円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※例…防災無線スピーカーの増設、民間企業等と連携した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュニティFM等を活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの設置等	H・I・J	①平成28年6月に足利市農業協同組合(JA足利)とJA足利の所有している施設の敷地を地域住民の緊急避難先として開放していただくことを含めた災害時応援協定を締結。自主防災会へ緊急避難先の候補地として周知している。 ②福祉避難所の確保のため、児童・障がい者施設、自治会、民生委員等へ配布。助成制度を導入して、市民等へ販売している。 ・河川監視カメラを1台設置。	H26~30年度 H27年度 H28年度 H29年度															
		③排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施 ※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S・T・V・X	庁舎の非常用発電設備について耐水対策の充実を図る。	H28年度															
		④水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置	N																	
		⑤迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材、地域防災計画に基づく水防資機材等の配備	Q	市内9箇所(消防署、水防倉庫等)に水防資機材を配備している。水防団員の安全確保という視点から充実を図りたい。	H28年度															
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																				
■情報伝達、避難計画等に関する取組																				
		①避難勧告に着目したタイムラインの策定	D	渡良瀬川について策定済み。	-															
		②広域避難計画の策定	E・F・U	浸水想定の見直しの際、必要に応じて、他市町と連携し、広域避難計画を作成・検討したい。	適宜															
		①避難勧告に着目したタイムラインの策定	D	タイムラインの見直しを行い、防災訓練や図上訓練等で活用する。	-															
		②広域避難計画の策定	E・F・U	隣接する市町と避難所の相互利用について調整し、広域避難計画の策定について検討していく。	適宜															

項目	事項	内容	課題の対応	足利市		栃木市		佐野市		桐生市		太田市		館林市		板倉町		邑楽町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																	
		①想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表 ※ 渡良瀬川洪水浸水想定区域図(H28年度中予定)	A																
		②想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	A・C																
		③想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定・周知	A	本市に影響のある河川の浸水想定区域の見直し後に取り組みたい。	H32年度	浸水想定区域の見直しを反映した防災ハザードマップの更新に着手し、平成30年度完成予定。	H29～30年度	想定最大外力を反映したハザードマップを作成し、全戸配布する予定。	H30年度	想定最大規模における洪水ハザードマップを策定中。平成30年度に完成、全戸配布予定。	H29年度～	公表された洪水浸水想定区域図を基に市防災マップを修正し、住民への周知を図る。(H30年度中)	国・県の浸水想定区域の公表後速やかに。	平成30年度に新たな浸水想定を基にしたハザードマップを作成、配布を行う。	H30年度	広域避難先の調整を行い、平成31年度に改訂して住民に周知する予定。	H30年度まで	平成30年1月策定済。	H29年度
		④首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	E・H・I・L	平成29年度の水防演習の際に市長も参加した実践的訓練の実施。今年度の水防訓練の際に実施できるか検討していきたい。	H28～	・平成28年8月に水害を想定した図上訓練を実施。	H28年度	平成29年5月に水害を想定した図上訓練を実施(防災関係機関と情報伝達訓練も実施)	H28年4月～	メールによる職員の水防訓練及び首長も参加した災害対策本部運営訓練を実施した。	H29年度	洪水浸水想定区域内の住民等の避難訓練の実施を検討中。	国・県の浸水想定区域の公表後。	市長を含む災害対策本部員で洪水を想定した図上訓練を行った。	H29年度～	毎年実施している。	毎年	平成29年9月3日防災訓練を実施。	H29年度実施済
		⑤日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップを整備	E・G	本市に影響のある河川の浸水想定区域の見直し後に取り組みたい。	H32年度	一部実施済みであるが、ハザードマップの更新と併せて、公共施設や電柱を中心に表示看板の設置を検討する。	H30年度～	ハザードマップ作成後に、必要に応じてまるごとまちごとハザードマップの検討を行う。	H30年度以降	一部地区で整備済み。他地区にも啓発を行っている。また、地域の自主避難計画の作成を支援している。	H28年度～	必要に応じてまるごとまちごとハザードマップの整備を検討する。	—	浸水想定区域の見直し後に検討する。	H30年度～	設置場所を検討中であり、平成32年度までには学校、公共施設及び避難経路の電柱等に、夜間でも見える表示板を設置する予定。	H29年度～	今後、検討していく。	H30年度～
		⑥小中学校における水災害教育を実施	A・B	社会や理科の時間において自然災害と防災について学習している。総合的な学習の時間においても、洪水・土砂災害ハザードマップ等を活用し身近なことから防災について学んでいる。また大雨や台風などを想定し、避難等について注意喚起している。以上のことを今後も継続していく。また、PTAからの要望を受け、親子で参加できる防災教育を実施した。	—	栃木市防災教育基本プログラムを作成。本プログラムを活用した取組を通じて、自分の命は自分で守り抜く子どもや進んで地域の安全に貢献しようとする子どもの育成を目指す。	H28年度～	小中学校の要請により出前講座を行う。	H28年4月～	社会や理科の時間において、自然災害と防災について学習している。	H28年度	河川事務所の出前講座・啓発資料等を活用し、小中学校での水害教育の推進を図る。	平成29年度以降	一部の中学校で実施中。	H28年度～	小学4年生を対象に、水防学校を毎年1回実施している。	毎年	他部局と連携し、今後検討していく。	H30年度～
		⑦要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の促進	M	避難計画の作成支援を行っている。今後も継続的に支援していく。平成30年3月に要配慮者利用施設の管理者向けの説明会を開催。	H28～	福祉担当課と連携し、要配慮者利用施設における避難計画の作成支援や訓練の支援を行っている。	H29年度～	・避難情報の連絡体制を検討中。避難訓練への参加を促している。 ・避難確保計画作成や訓練実施の説明と支援を行う。	H28年4月～	要配慮者利用施設向けの避難確保計画策定等についての説明会を実施した。	H28年度～	該施設に対し、水防法改正の趣旨を説明し、避難確保計画の策定・訓練の実施を促す。	—	計画策定の支援を行う。	H30年度～	要配慮者施設が実施する訓練を支援する。	H29年度～	計画の策定・訓練の支援等に努める。	H30年度～
		⑧「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の提供等、防災気象情報の改善	B・K																

項目	事項	内容	課題の対応	足利市		板木市		佐野市		桐生市		太田市		館林市		板倉町		邑楽町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		⑨大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	A・B	本市に影響のある河川の浸水想定区域の見直し後に取り組みたい。	H32年度	洪水ハザードマップによる周知をしている。	H28年度～	・現行の想定は洪水ハザードマップやHPにより周知している。 ・想定最大外力を反映したハザードマップを作成し新たに周知予定。	H28年4月～	水害についてHP、広報等において周知を行っている。	H28年度～	大規模工場等の用途及び規模の基準を条例で制定済み。	-	ハザードマップの周知を行う。	H30年度	洪水ハザードマップにより周知している。	H30年度～	防災マップを作成し周知している。	H29年度
		⑩ダムの防災操作に関する周知	B																
2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組																			
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																			
		①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	L・O	Eメールにて指令を発信しており、随時確認を行っている。今後も継続していく。	毎年	・連絡体制の再確認を実施した。	毎年実施	無線やメールなどを活用し情報伝達手段を確保し運用している。	H28年4月～	年間を通して定期訓練等において実施している。	H28年度～	消防本部を通じて消防団との連携を図っている。	-	消防団が水防団を兼ねており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や災害現場等で行っている。	H29年度	消防団が水防団を兼ねており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等で行っている。	-	消防団が水防団を兼ねており連携はとれている。	実施中
		②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	N・O	重要水防箇所等の共同点検に参加している。今後も自治会関係者に参加を働きかけていく。	毎年	国・県が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加している。	毎年実施	県や消防団、地元町会と重要水防箇所の点検を実施している。	H28年4月～	国・県が実施している重要水防箇所合同巡視に参加している。	H28年度～	共同点検の実施について、今後河川管理者と協議を行う。	-	河川事務所が実施する共同点検に参加している。また、多々良川江川橋付近で水防工法訓練を行った。	H29年度～	国、県が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加している。平成30年度から、自主防災組織のリーダーが参加する予定。	H29年度～	国、県が実施している重要水防箇所点検に参加している。水防団、地域住民の参加については今後検討していく。	H29年度～
		③水防(防災)訓練の実施	O・P・R	平成29年度は7月2日(日)に開催。平成30年度は7月1日(日)に開催。	毎年	水防訓練を実施。	毎年実施	毎年、出水期前に1回以上水防訓練を実施している。	毎年	毎年、水防訓練を実施している。	H28年度～	毎年水防訓練を実施している。	-	市総合防災訓練で実施している。	隔年実施	総合防災訓練(隔年)及び避難訓練(毎年)を実施している。館林地区消防組合(水防管理団体)が水防訓練(毎年)を実施している。	-	平成29年9月3日防災訓練を実施。	隔年で実施中
		④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	O・P	消防団が兼任。消防団員の入団促進への取り組みを継続していく。	毎年	・広報誌やホームページ等で広く募集を行っている。	毎年実施	水防計画に基づき水防協力団体の募集に努めている。	H28年4月～	消防団員(水防団員)の募集を促進している。また、H29年度から従来の消防団員に加え、機別消防団員を導入、H30年度から学生消防団員認証制度を導入予定。	H28年度～	消防本部を通じて水防活動を行う消防団の募集を推進している。	-	館林地区消防組合と連携し、水防活動を行う消防団の募集を推進している。	H30年度	消防団(水防団)の広報紙(年1回)を発行し、組織や活動内容を紹介して団員募集を行っている。	-	ポスターの掲示、成人式でのパンフレットの配布など継続的に実施している。	実施中
2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動及び施設運用強化の取組																			
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組																			
		①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成 ※排水計画(案)…効果的、効果的な排水ポンプ設置箇所の選定までを含む。	V・W・X																
		②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施	V・W	ポンプ車の出動要請について渡良瀬川河川事務所と確認済み。	-	排水ポンプ車出動要請の連絡体制について再確認した。	毎年実施	・H30.1渡良瀬川河川事務所と排水ポンプ車出動要請の連絡体制について協議を行った。 ・災害対策用機械の操作訓練に参加した。	H28年4月～	・関係機関との連絡体制の確認、検討を継続して行った。 ・災害対策用機械の操作訓練に参加した。	H30年度～	関係機関との連絡体制の整備を図る。	-	災害対策用機械の操作訓練に参加した。	H29年度～	関係機関と協議のうえ、排水訓練の実施を検討する。	H29年度～	災害対策用機械の操作訓練に参加した。	実施中
		③ダムの容量を最大限活用する防災操作の検討	Y																

概ね5年で実施する取組【H29取組状況】

(国、水機構、県 用)

青字:削除

項目	事項	内容	課題の対応	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取組													
■洪水を河川内で安全に流す対策													
		①浸透対策 ②バイピング対策 ③流下能力対策	Z	・浸透対策、バイピング対策について、H29年度検討済 ・流下能力対策は伊保内、只上にて施工している。	H32年度まで								
■危機管理型ハード対策													
		①天端の保護 ②法尻の補強	Z	・天端の保護については、H29年度内に完了。 ・法尻の補強については、検討の結果不要となった。	H32年度まで								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備													
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信	H・J・K	・H28年度に事務所HPのライブカメラ配信を1箇所から13箇所へ拡大した。 ・洪水情報のプッシュ型配信をH30年5月1日から開始予定。	H32年度まで					「とちぎリアルタイム雨量・河川水位観測情報」(インターネット配信)により雨量・河川水位・河川状況映像等の情報を引き続き提供していく。	通年	・河川監視カメラを設置し、県HPで公開。 ・県HPにスマートフォンの画面を水位雨量情報が見やすく、操作しやすい閲覧画面に改良した。 ・LアラートをH29年度出水期から導入済。	毎年
		②円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※例…防災無線スピーカーの増設、民間企業等と連携した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュニティFM等を活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの設置等	H・I・J	H28年度に監視用カメラを2基増設済。	H32年度まで								
		③排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施 ※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S・T・V・X	今後、排水施設耐水化の検討を実施する。	H32年度まで								
		④水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置	N	H28年度に簡易水位計を5箇所設置済。 H30年度に12箇所増設する予定。	H28年度								
		⑤迅速な水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材、地域防災計画等に基づく水防資機材等の配備	Q	・洪水対策計画書に基づく水防資機材を備蓄している。 ・新技術である「水のう」を備蓄しており、市町で実施する水防訓練で活用している。	毎年					地域防災計画に基づく水防資機材の備蓄を引き続き実施していく。	毎年	水防計画に基づき、備蓄資機材の保管状況を確認し、緊急時に備える(毎年)	毎年
2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組													
■情報伝達、避難計画等に関する取組													
		①避難勧告に着目したタイムラインの策定	D	H28年度までに、作成に必要な水位情報等を提供し、支援した。	H29年度出水期まで	(宇都宮地方気象台)佐野市防災担当からタイムライン更新にかかる相談を受け、助言を行なった。また、5/22にはタイムラインを意欲した佐野市災害警戒本部にて、訓練シナリオの中でホットラインを用いた気象解説を実施した。引き続き、支援を行なっていく。	随時						
		②広域避難計画の策定	E・F・U							市に対し、広域避難計画の策定を働きかけていく。	適宜	県減災対策協議会において広域避難について市町を支援(適宜)	適宜
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組													
		①想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表 ※渡良瀬川洪水浸水想定区域図(H28年度中予定)	A	H29.7月に想定最大規模の洪水浸水想定区域図を作成し、公表した。	H29年度								

項目	事項	内容	課題の対応	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		②想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	A・C	想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションを公表手続き中。	H29年度								
		③想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定・周知	A										
		④首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	E・H・I・L							市に対し、実践的な避難訓練の実施を働きかけていく。	適宜		
		⑤日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップを整備	E・G										
		⑥小中学校における水災害教育を実施	A・B							○河川水難事故防止に係る出前講座を実施 【栃木土木事務所】 ・栃木市立栃木第三小学校(H29.7.7) ・栃木市立寺尾小学校(H29.7.13) 【安足土木事務所】 ・佐野市立旗川小学校(H29.7.11) ・足利市立筑波小学校(H29.7.18)	適宜	県HPの出前講座リストに水災害に関する分野を掲載し、実施要望を受付中。(適宜)県内の地域毎に防災教育資料を作成(30年度以降実施予定)	適宜
		⑦要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の促進	M							H29.8.21及び12.21に各流域栃木県減災対策協議会において、要配慮者利用施設の避難確保計画策定状況について各市町へ周知した。	適宜	要配慮者利用施設及び市町村担当者に説明(28年度)要配慮者利用施設位置と洪水浸水想定区域を示す資料(Viewer)を市町に配布した(29年度)	H28年度～
		⑧「危険度を色分けした時系列」及び「警戒級の可能性」の提供等、防災気象情報の改善	B・K			・「警戒級の可能性」、「危険度を色分けした時系列」(H29年5月17日改善) ・メッシュ情報の充実化(「土砂災害警戒判定メッシュ情報」H28年5月24日、「大雨警報(浸水害)の危険度分布」、「洪水警報の危険度分布」H29年7月4日改善)	H29年度出水期まで						
		⑨大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	A・B										
		⑩ダム防災操作に関する周知	B					草木ダム防災操作連絡通知説明会を年1回定期的に開催しており、今後も継続していく。	引き続き定期的に実施				
2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組													
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組													
		①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	L・O										

項目	事項	内容	課題の対応	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所での共同点検の実施	N・O	H29.4.26に重要水防箇所等の共同点検を実施した。	H28年度～毎年実施	河川事務所や自治体防災担当、水防団及び住民代表と共同にて水防箇所の共同点検を4/26に実施した	H28年度～			○水防月間(5月)において、重要水防箇所を関係機関と共同点検した【栃木土木事務所】 -H29.5.29(栃木市と合同) 【安足土木事務所】 -H29.5.29(足利市、足利市消防本部、足利警察署) -H29.5.29(佐野市、佐野市消防本部、佐野警察署)	毎年	点検を実施(毎年)	毎年
		③水防(防災)訓練の実施	O・P・R			県あるいは自治体の水防訓練に参加した。	H29年度～			○水防訓練へ参加した【安足土木事務所】 -H29.7.2(足利市水防訓練) -H30.3.14(水防協力団体(栃木県建設業協会足利支部)による矢場川防災ステーションにおける水防訓練)	毎年	図上演習を実施(毎年)	毎年
		④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	O・P	最新情報を入手した場合、各自治体へ情報提供している。	H28年度～								
2)ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動及び施設運用強化の取組													
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組													
		①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成 ※排水計画(案)…効率的、効果的な排水ポンプ設置箇所の選定までを含む。	V・W・X		H30年度に排水ポンプ設置箇所の選定まで行った排水計画(案)を作成するための検討を実施する。	H30年度							
		②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施	V・W		災害対策用機械(排水ポンプ車、照明車等)の操作訓練を毎年実施している。	H32年度				災害対策用機械の操作訓練に参加した。(安足土木)	適宜	渡良瀬河川事務所主催の排水訓練に参加	H28年度～
		③ダムを容量を最大限活用する防災操作の検討	Y						-草木ダムの機能を最大限活用するための洪水調節方法等の検討を行った。その結果を踏まえ、洪水時にダム下流河川の水位状況に応じて、今後の降雨量やダム貯水容量を勘案しながらダム放流量を減少させ、下流河川の被害軽減を図る特別防災操作の可能性について確認した。なお、この操作は、中小洪水時を対象とし、異常洪水(計画規模を超える洪水)時は対象外である。	H28年度～			